

# こだま(クラブ活動)とは

## 〈目標〉

同好の子どもが、所属する集団の生活を楽しく豊かなものにしようとする意図のもとに、共通の興味・関心を追究する活動を、自発的・自治的に行うことによって、自主性と社会性を養い、個性の伸長を図る。

## 〈こだまについて〉

本校では、クラブ活動を「こだま」という。

山に向かって呼びかけると、こだまがいくつも次々と跳ね返ってくる。

本校の「こだま」は、山のこだまのように、教師の呼びかけに子どもが応答したり、子ども相互に応答したりして、次々と活動につながり、発展していくことを願っている。

## 〈こだまの基本的な構え〉

- 各自の能力や特性を十分に発揮し、仲間と仲よく活動できる楽しさを味わう。
- 共通の興味、関心を創意工夫を生かしながら追究する。
- 作品を生み出す喜びにひたり、個性の伸長を図る。

## 〈願う子どもの姿〉

- 進んで計画し、自分の手で運営できる。
- 成果を確かめ、作品づくりができる。
- 認め合い、励まし合い、協力し合って活動できる。

## 〈こだまの組織と種類〉

### 『組織』

- 対象学年：4年生以上の児童とする。
- 実施期間：年間15時間で、5月と12月に、各1時間ずつ計画と反省の時間を設ける。
- 指導者：学級担任及び専科担任が指導する。

### 『種類』

- 本校の施設、器具、用具等の関係や共通の趣味・関心を追究する活動とのかわりから、次のようなこだまを設定している。

#### 【文化系こだま】

生き物、プログラミング、ダンス、工作、絵画イラスト、手芸、器楽、オセロ・将棋、

絵画・イラスト、タブレット、算数パズル、音楽作り、などトレ、マジック

#### 【運動系こだま】

バレーボール、バドミントン、ベースボール、ポールゲーム、なわとび